



～愛を込めて～

# HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

## The 382nd Subscription Concert

広島交響楽団第382回定期演奏会

2018. **7.7** 土

15:00開演(14:00開場)

Sat Jul 7 2018 Start 15:00 (Open 14:00)

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮：準・メルクル

細川俊夫

冥想—3月11日の津波の犠牲者に捧げる—

Toshio Hosokawa : Meditation -to the victims of Tsunami 3.11-

メシアン

輝ける墓

Messiaen : le Tombeau resplendissant

ストラヴィンスキー

バレエ「火の鳥」(1910年版 全曲)

Stravinsky : L'Oiseau de feu (1910 Edition)

Concertmaster / 佐久間 聡一 Soichi Sakuma

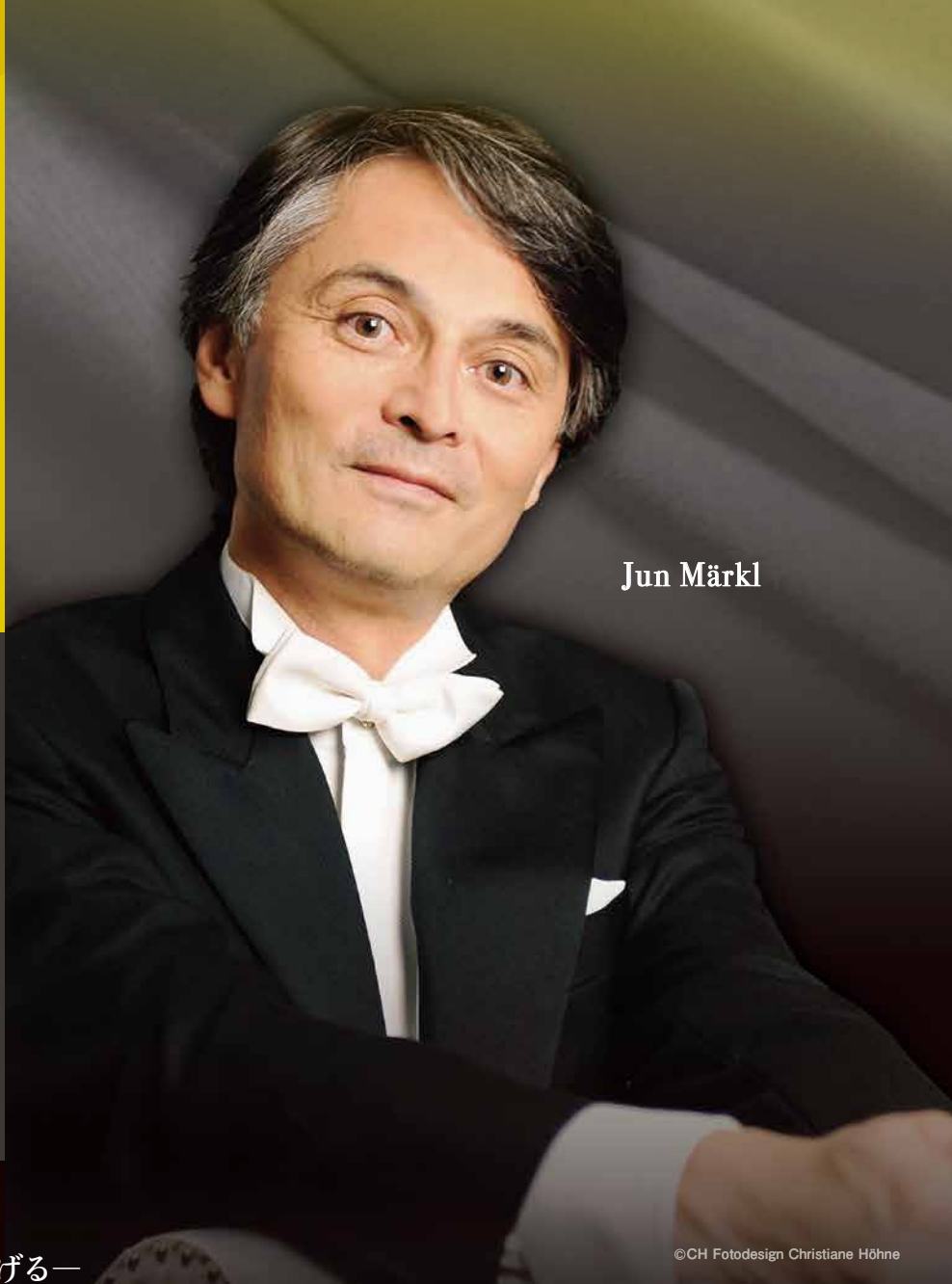
主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

プレミアム協賛 / **マツダ株式会社**

後援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

お問い合わせ 広響事務局 TEL : 082-532-3080



Jun Märkl

©CH Fotodesign Christiane Höhne

チケット(税込/全席指定)

S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円(学生券1,500円)

(学生券は広響事務局のみで取り扱い)

プレイガイド

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド

福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン

広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場

ローソンチケット(Lコード:61755)・チケットぴあ(Pコード:105-411)

中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売

チケット発売日 | 2018年5月7日(月)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

  
beyond  
2020



広響公式ホームページ▲  
HP : <http://hirokyo.or.jp>

# HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

The 382nd Subscription Concert

## 七夕の日に

七夕にお届けする広響定期は非常に意味深く、趣意に溢れ、かつスペクタクルなプログラムだ。このプログラムを聴いた後、天の川を見上げたら、一体どんな想いが去来するだろうか…。そして、指揮者に迎えるは、広響初となる準・メルクルである。しかも3曲とも準・メルクルの手中にある作品が並ぶ。細川俊夫が3.11の犠牲者に捧げるために描いた「冥想」に続くメシアンの色彩豊かに描く天国の世界。そして後半は「火の鳥」全曲。言わずと知れた永遠の命を司る炎を纏いし鳥、鳳凰、不死鳥などと呼ばれる。ストラヴィンスキーが描くは、悪魔に捉えられし女王を火の鳥の力を借りて王子が救い出し、二人が結ばれる…といういかにも七夕の日に相応しい。しかし今回はバレエを見るのではなく純粋に音楽に身を委ね、各々に想いを巡らせて聴いて欲しいと思う。それこそが広響が掲げる“Music for Peace”の真髄なのだ。



指揮  
準・メルクル  
Conductor / Jun Märkl

準・メルクルは、これまでドイツ作品の中核をなすレパートリーにおいて、管弦楽作品、オペラ両方の分野で確固たる評価を得ているが、近年は加えてフランス印象派作品の精緻かつ独自の解釈においても評価が高まっている。

ミュンヘンで生まれ、ハノーファー音楽院でヴァイオリン、ピアノ、指揮を学んだ後、セルジュ・チェリビダッケ、グスタフ・マイヤーに学ぶ。86年にドイツ音楽評議会の指揮者コンクールで優勝。その1年後には、ボストン交響楽団の奨学金を得てタングルウッド音楽祭に参加し、レナード・バーンスタイン、小澤征爾に学んだ。ヨーロッパの歌劇場での出演を重ね、ザールラント州立劇場(1991-94)、マンハイム国立劇場(1994-2000)の音楽監督をつとめた。

1993年に、「トスカ」でウィーン国立歌劇場にデビュー、1996年には「神々の黄昏」でロイヤル・オペラ・ハウスに、99年には「イル・トロヴァトーレ」でメトロポリタン歌劇場にデビューするなど、次々とオペラ指揮者としてのキャリアを築いてきた。ウィーン、ベルリン、ミュンヘンそしてドレスデンの国立歌劇場との長年の関係に加え、管弦楽作品の指揮者としても、リヨン管弦楽団の音楽監督(2005-11)、ライプツィヒMDR交響楽団の首席指揮者(2012年まで)を務めるなど、華やかなキャリアを築いており、2014-15年、2015-16年シーズンはバスク国立管弦楽団の首席指揮者を務めた。

クリーブランド管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団、NHK交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団など世界的なオーケストラとの共演を重ねている。

日本には、1997年にNHK交響楽団を指揮してデビュー、その後も共演を重ねている。2000年にはウィーン国立歌劇場来日公演、「メリー・ウイドウ」、2001年から4年がかりで上演された新国立劇場でのワーグナー「ニーベルングの指環」チクルス、2007年のドレスデン国立歌劇場来日公演「タンホイザー」、その他にもパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)への参加、水戸室内管弦楽団との共演など、めざましい活躍を続けている。さらに、国立音楽大学の招聘教授に就任し後進の指導にもあたる。二期会オペラ公演「イドメネオ」、「ダフネ」、「ローエングリン」、読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団への客演など、近年は更に活動の幅を広げている。

レコーディング活動も活発で、2014年は、ロイヤル・スコティッシュナショナル管弦楽団と、細川俊夫のアルバムを2タイトルリリース。リヨン管弦楽団とは、シュトラウス、ベートーヴェン、マーラー作品(Altus)、ドビュッシー、ラヴェル、メシアン作品(Naxos)を、MDRライブツィヒ放送響とは、ブラームス、シェーンベルク作品(Altus)、メンデルスゾーン作品(Naxos)、NHK交響楽団とは、マーラー、ドビュッシー作品(Altus)、シューマン交響曲全集(Extol)などをリリースしている。

2012年、リヨン管弦楽団との功績を称えられ、フランス芸術文化勲章・シュヴァリエを受章。

2018  
9/7 (金)

## 広島交響楽団 第383回定期演奏会

広島文化学園HGBホール 18:45開演(17:45開場)

モーツァルト 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲  
Mozart Don Giovanni, K.527 Overture

モーツァルト ピアノ協奏曲第9番変ホ長調「ジュノーム」  
Mozart Piano Concerto No. 9 in E-flat major, K.271 "Jeunehomme"

ベートーヴェン 交響曲第4番変ロ長調  
Beethoven Symphony No.4 in B-flat major, op.60



指揮  
ガエタノ・デスピノーサ



ピアノ  
キム・ヒョンジュン